

祝！ 別府八湯温泉道の名人位取得

大分事業所 総務安全課 古谷

別府八湯温泉道とは

大分県別府市には八つの個性あふれる温泉（別府／浜脇／鉄輪／明礬／観海寺／亀川／柴石／堀田）を別府八湯と称し、約2,300孔もある日本一の源泉数の内、約150か所の共同温泉やホテルが「別府八湯温泉道」に登録しています。

その登録している温泉に入湯し、「スパポート」と呼ばれるスタンプ帳に押印する（同じ温泉はNG）と8か所で初段、16か所で二段、24か所で三段と8か所毎に昇段し、80か所で十段となり、88か所を制覇した人に「別府八湯温泉道名人」の称号が与えられます。

私がこの温泉道を始めたのは2012年12月29日に家族が大分に遊びに来た時に、竹瓦温泉での孫との入浴シーンが大分のテレビ（OBS）にて放映されたのがきっかけとなりました。翌年の年明けから1日2～4か所程度をじっくりとまわり、約1年後の2014年2月に、名人位取得のきっかけとなった竹瓦温泉にて88か所目を入湯し、この度、4368代の名人位を頂きました。

なお、この名人位を11回で「永世名人」、22回で「名誉名人」、33回で「永世名誉名人」、44回で「王位名人」となるそうです。

ちなみに鉄輪エリアの「ひょうたん温泉」（ミュッシュランの三ツ星取得）に私の写真が名人として殿堂入りしていますのでお立ち寄りの際は殿堂室で探してみてください。



温泉道を始めたきっかけとなったOBSテレビの竹瓦温泉の取材風景



上段は別府エリアの昭和天皇も入浴した不老泉温泉。今は老朽化のため、建て替え中。

下段は同じく別府エリアの駅前高等温泉。



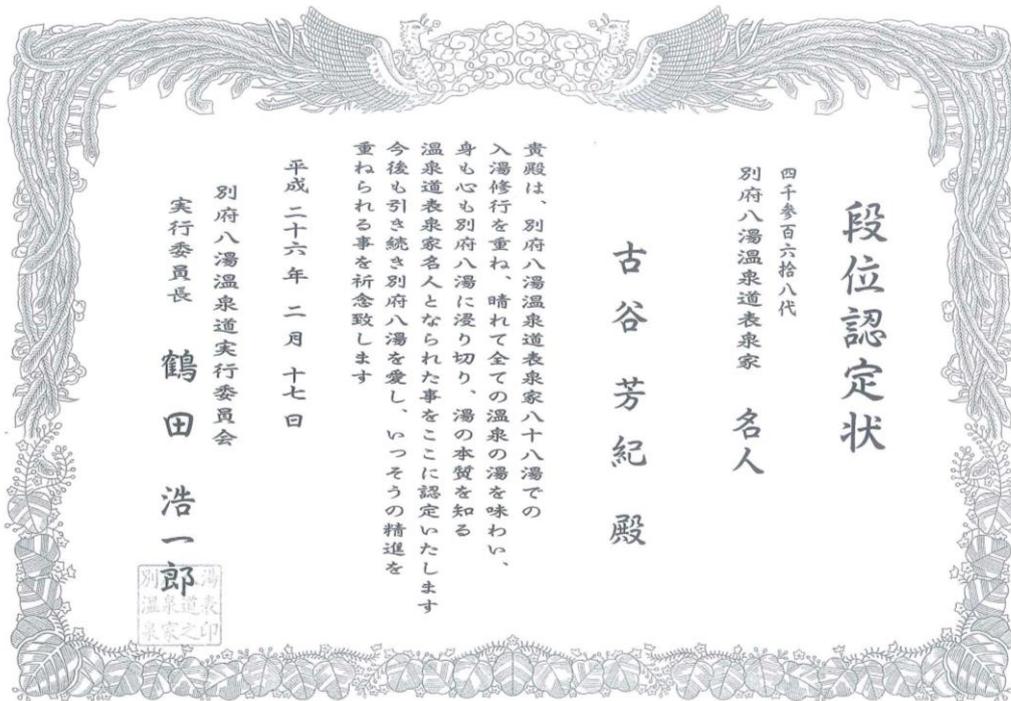
写真は名人に授与される金の刺繍のタオル
 その他の段位では異なる色のタオルが授与される。七～十段：青色、五～六段：赤色



入湯した証しにスタンプを押す「スパポート」
 一枚8湯分のスタンプカードが11枚。
 (初段～十段+名人位)



亀川エリアの別府海浜砂湯。
ここでは砂かけマイスターさんに砂
をかけて貰い、海を眺めながら温浴



4368代の名人認定